

芸短生 動物園 ウォッチ

季節の変わり目 換毛期の チュウゴクオオカミに密着!



夏はもうすぐ。四季がはっきりしている日本は、もともと外国に生息していた動物たちにとっては難しい環境になることもあります。今号ではその動物のひとつ、チュウゴクオオカミをクローズアップして、ご紹介します。(大阪芸術大学短期大学部メディア・芸術学科 井上七摘)

季節の変化とともに訪れる換毛期

新型コロナウイルス感染拡大のために緊急事態宣言が発令され、休園となっていた天王寺動物園。休園中にもかかわらず、快く取材を受けていただきました。

会ってきたのは、動物交換で来たチュウゴクオオカミのつがいが残した子どもたちです。チュウゴクオオカミはハイイロオオカミの亜種で、森林や山岳地帯・砂漠地帯にも生息しています。

私が取材させてもらった5月上旬になると、チュウゴクオオカミはだんだんと体毛が生え変わり、抜け毛が増えてきます。オスの方が先に生え変わりを始めたようで、見た目のふわふわ感が違いました。特に寝所に多く抜け毛があるようで、取材中も毛がふわふわと舞っていました。しかし、このふわふわは困ったこともあるようで、抜け毛を自身で食べてしまい、軟便になってしまったりするそうです。



人が来たことによって動き回っていました。

どんな食生活を送っているの？

普段の食事は、一日、鶏肉1キログラム、牛肉700グラムだそうです。毎日、食事にありつけるとは限らない野生の食生活に少しでも近づけるために、必ず週1回、決まった曜日に絶食させるそうです。オスのオオカミは年変わらず元気に食事を食べますが、メスは季節の変わり目になると食欲が落ちてしまうので調節するのだそうです。

食事を与える際はネコ科がイヌ科で危険度が違うそうです。ネコ科の方が危険度は数段上。なぜかとい

うと、ネコ科の前足は前後だけでなく左右にも自在に動くからです。古い獣舎だと鉄の扉を持ち上げて食事を投入しますが、ネコ科の場合は、持ち上げて投げ入れてすぐに閉めなければ、前足が出てきてひっかかれてしまいかねません。



動き疲れて眠いのでしょうか？ウトウトしています

動物園で飼育していても順位がある！ オオカミの習性

オオカミは群れで狩りを行い獲物が弱るまで追いかけます。動物園で見るとオオカミはグルグルとオリの中を歩いているようですが、この習性が関係するようです。寝ているように見えても、この習性が関係するようです。寝ているように見えても、この習性が関係するようです。寝ているように見えても、この習性が関係するようです。

オオカミは野生下では群れの中で順位付けをする動物。飼育下でもそれは同じなのだそうですが、動物園はスペースが狭いこともあり、複数のオオカミを同じスペースで同居させる場合は闘争する場合があります。激しく争わない個体の組み合わせが選ばれます。では、ボスが絶対的なのか？ というところでもありません。横暴だったりすると他のオオカミたちが結束して、ボスの座から引きずり下ろしたこともあるそうです。ボスは強さだけで決まるわけではないのです。



背中あたりがフワフワ。換毛期により生え変わっているところだそうです！

編集後記

はじめての取材。何を尋ね、何を書けばいいのか悩んでいましたが、取材を終えて飼育員さんが話してくれたことを書きはじめると、筆を止めることなく書いてしまいました。仲がいいばかりではない、生きているオオカミの実態やお世話する際の違いや注意点など、たくさん聞いて貴重な時間を過ごせました。ありがとうございました。(井上七摘)



メディア・芸術学科 井上七摘

イラストレーション / 望月けい

オープンキャンパス de 体験入学

6/20(日)・7/11(日)
8/1(日) 9/5(日)・10/3(日)・2/6(日)
※日程は変更になることもあります。

望月けいイラスト入り
クロッキー帳プレゼント!!

毎月かわる!
オリジナルグッズ
プレゼント!

Webから事前申込要▼
大阪芸短

大阪芸術大学短期大学部 伊丹キャンパス / メディア・芸術学科、デザイン美術学科
大阪キャンパス / 保育学科

大阪の発行日 2021年6月8日